

日本データマネジメント・コンソーシアム
(Japan Data Management Consortium)

2026/5/16

FY26 エントリー研究会のご紹介



JDMC研究会企画部会 リーダ
株式会社NTTデータ バリュー・エンジニア
池田 信威 (Ikeda Nobutake)

日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]

※FY25との変更点を赤字で記載

テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス研
究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

テーマ2

データマネジメントの
価値研究会

シグマクシス
河島 一成

テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTドコモビジネスX
水谷 哲

テーマ4

データドリブン経営
研究会

旭化成
安田 航

テーマ5

生成AIによる
データ管理研究会

メタデータ
野村直之

テーマ6

非財務データ (ESG) ×
Physical AIによる
経営高度化研究会
— 一次データが企業価値を
ドライブする —

富士通
永野友子

テーマ7

ウェルビーイング視点で
のヒトとAIのデータ相互
活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

研究会からコミュニティへ

発生なし

テーマ1 AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会



テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス研
究会

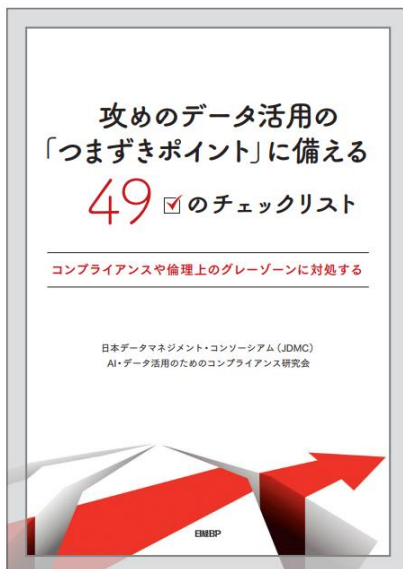
SBIホールディングス
佐藤 市雄

初級

中級

上級

2022年3月14日発刊



AI・データ活用の拡大に伴う倫理的課題や今後のビジネス拡大のためのつまずきポイントや解決に向けた解決策についてディスカッションと2022年に出版した倫理フレームワーク®の深掘りと、浸透、実務への適応に取り組む研究会です。

- 生成AI・データの利活用を検討・推進している方
- AI・データ活用における契約・コンプライアンス・個人情報保護に課題を感じている実務者・法務担当者
- AI・データ活用における倫理に関心のある方
- コンプライアンスに関心を持ち、データ・AI倫理の指針に貢献したい意欲のある方

「倫理フレームワーク」とは

- AI・データ活用にて新しいことに取り組む際に、事前に「つまずきポイント」を見つけ対策を講じていくことが大切となります。しかしながら、法令に基づく確認だけでは不十分なため、**倫理観点で見つける必要があります。**
- 「倫理フレームワーク」は、最近の問題事例を分析して判り易い体系に整理した、現代において最も適切な内容となっています。
- 「倫理フレームワーク」では、右図の**5つの倫理項目**で整理しています。そして、倫理の項目の下に**14個の「つまずきポイント」**があり、その下に**49個の「チェック項目」**を用意しています。



【FY25に追加した公開資料】

3. 「AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会」の成果物
つまずきポイントのチェック や 対応策の最新調査へのAI活用プロンプトのご利用
にあたっては記載の利用規約をご確認ください

1 ①チェック ②対応策 プロンプト公開

つまずきポイントの
チェック
プロンプト
ダウンロード

対応策の最新調査
プロンプト
(DeepResearch向け)
ダウンロード

本年度の活動テーマ

- ①実業務×AIの時代、未来課題の先行検討
- ②倫理フレームワーク利用×AIによる加速

テーマ2 データマネジメントの価値研究会



テーマ2

データマネジメントの
価値研究会

シグマクシス
河島 一成

初級

中級

上級

データマネジメントの価値創出に向けて研究会メンバーの会社で発生している個々問題の背景、状態、根本原因に着目し、その攻め方、実践の取り組み方、巻き込み方についての仮説、検証よりノウハウをまとめる研究会です。

- 通年、月一回の定例研究会に参加できる方
- データマネジメントの価値創出を通じて組織の意識を変えたいビジネスリーダー
- グループ会社や海外事業会社を巻き込んだデータマネジメント展開と企画を考えているビジネスリーダー
- 経営に対してデータマネジメントの価値創出について進言をする立場のビジネスリーダー

データマネジメントの取り進め方チーム
メンバーのリアルな事例・悩みから取り進め方を探る

経営巻き込みチーム
経営層をデータマネジメントへ巻き込むには

現場巻き込みチーム
ビジネス部門にデータのオーナーシップを持ってもらう

※参画メンバーの希望に応じ、ワーキングチームは新規組成も可能

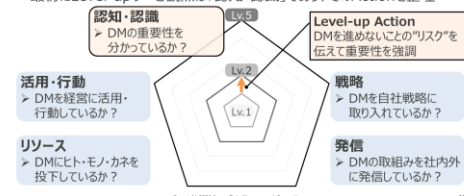
<DM取り進め方> 重要ポイント

- ユースケースから、DM組織の役割として、「部門間調整」「必要なデータを揃える」の重要性が浮かび上がった
⇒ ユースケースを起点に議論することで取り進め方のポイントを導くことができる

役割	重要な理由
部門間調整	<ul style="list-style-type: none">必要なデータを業務部門に依頼しても、データ提出を拒否されたり、すぐに出してもらえないことがある全社データ利活用の推進には、データ提出に対して権限を持つ部署が必要
必要なデータを揃える	<ul style="list-style-type: none">全社データ利活用に必要なデータについて、事業部門ごとにデータ項目が異なる、フォーマットが異なることが発生共通フォーマットにするためには、それをミッションとする部署が必要

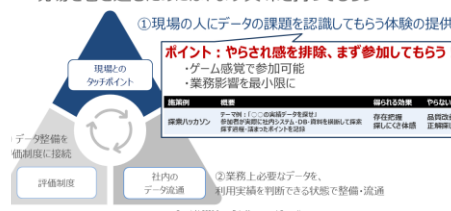
<経営巻き込み> 重要ポイント

- 経営層の味方度合い(味方Level)は5観点×5Levelで評価できると考えた
- 最初にLevel-upすべき観点は「認知・認識」であり、そのActionを整理



<現場巻き込み> 重要ポイント

- 現場を巻き込むためには、まず興味を持ってもらう



テーマ3 MDMとデータガバナンス研究会



テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTドコモビジネスX
水谷 哲

初級

中級

上級

非公開のサロンとしてMDM (マスターデータマネジメント)およびデータガバナンスの事例や理論から管理手法、テクノロジー、哲学に至るまで語りあい学ぶ場です。苦労話や自慢話、技術紹介やソリューション紹介(宣伝可)など月一回で共に学び、討議、語り合う研究会です。

- MDM・データガバナンスのキーワードの話題でいろいろ勉強したい人
- MDM・データガバナンスについて実践・理論・異論を語りたい人
- 関連する製品の紹介をしたい人 (飛び入り可)
- 直接の関心はないが、ITにとってMDM・データガバナンスが重要だと考える人

1. MDMサロン：みんなの情報交換

基本クローズドな環境で、公式には交換できないような体験・事例・技術・製品をふくめた情報共有し、ディスカッションします

話題はいわゆるMDMに閉じません。これまでもノーコードツール・SCMソリューション・APIツール・反社チェックなどを違和感なく取り入れてきました

2. MDMテーマ：議論と切磋琢磨

本質を問う議論 (MDMとは、メタデータとは)、テクニック論 (名寄せとは、データモデリングとは)、方法論 (EA:エンタープライズアーキテクチャとは、成熟度とは)、社会問題 (ESG・生成AIとMDM)など、研究会のファシリテーションのもと議論し知見を得ます

テーマ4 データドリブン経営研究会



テーマ4

データドリブン経営 研究会

旭化成
安田 航

初級

中級

上級

企業が**データドリブン経営**を進める上での**課題**について、各自の**経験談**や有識者の**知見**を持ち寄り、最適な**解決案**を共に**考え**、**学び**合う研究会です。

【開催予定】 6～11月, 第4水曜, 19:00-21:00

【ミッション】 日本企業ならではのデータドリブン経営の「課題」を整理し、社会に共有する

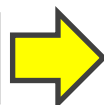
- データドリブン経営の実現に関わる仕事をされている方
- データに関わる仕事をされている方
- データ利活用組織の設計に悩まれている事業会社の方

昨年度

- 日本企業特有の“縦割り構造”に着目し課題体系化

→ 書籍として出版

Kindle
ベストセラー1位！



2026年度

**生成AIを活用した
データドリブン経営とは何か？**

テーマ5 生成AIによるデータ管理研究会



テーマ5

生成AIによる データ管理研究会

メタデータ
野村直之

- 初級
- 中級
- 上級

生成AIを用いたデータ加工(含、名寄せ、クレンジング)、管理、分析の実践的研究成果や耳よりな情報を持ち寄り、共有する研究会です。

AIによるコード生成、エージェントなど含め、毎日大量の新ニュースが流れる中、上記目的に沿って本当に重要そうなものを見極め、出来ればハンズオン経験を持ち寄って質の高いキュレーション、サンプルファイルの共有等を目指します。

- エンジニア経験からビジネス企画、マーケティングへとキャリア、スキルを開拓する猛者。
- 生成系AIを活用したデータ管理・クレンジングの実践を志す方。
- ExcelとLLMの連携の様々な仕組みと使い分けに興味ある方。
- AIEージェントの適切な活用法、セキュリティ対策に興味ある方。
- 生成系AIの活用のメリットを享受したい全ての方。

■ 4月例会で画面共有 ~ 同じ「Excel対応AI」でも、入力・得意領域・戻し込みの強さが異なる

■ 月例研究会概要より
2026.4

Excel / Copilot /
Claude / Gemini /
NotebookLM
の実務比較

※詳細は、研究会「掲示板」に動画リンクと、「ファイル」に詳細版要約をメンバー向けに掲載

Claude in

- ・図形や画像主体のExcelを読んで箇条書き整理
- ・新シート出力まで確認
- ・大量図形・巨大図面では処理限界あり

Gemini / NotebookLM

- ・Redmine / FAQ / 会議メモを読み込み問い合わせ対応
- ・FAQチャット化で件数を大幅削減
- ・動画から手順書生成が実務で有効

Copilot / ChatGPT for Excel

- ・不動産データに自然文条件を与えて候補提示
- ・ブラウザ版Copilotと近い操作感
- ・表への書き戻し・厳密検証は今後の課題



■ 次回以降、
比較を継続

■ 表ネイティブRAGとも優位性を比較

テーマ6

非財務データ (ESG) ×
Physical AIによる
経営高度化研究会
— 一次データが企業価値を
ドライブする —

富士通
永野友子

初級

中級

上級

2023年からの3年間で、非財務データのマネジメント研究会として推進してきました。これまでの研究会では、**非財務情報の活用方法が分からない**という回答がJDMC会員アンケートで約70%あり、経営に繋がっていないことも明らかとなりました。

そこで、2026年度は、昨年度、①活用が進まない課題として「**製造業での一次データ取得の困難性**」の解決に向け、**Physical AI等による製造現場からのデータ取得・分析**の研究と、②非財務情報を**企業価値向上に資する経営基盤データ**として捉え直し、財務との統合による経営高度化を実践的活用を目指して取り組む研究会です。

- 経営企画、財務、サステナ部門など、非財務情報開示に関心を持つ実務担当者、ビジネスリーダー
- データ利活用を含めたDXを推進しようと考えている**データサイエンティスト、ITシステム部門**
- GX (Green Transformation) やSX (Sustainability Transformation) を推進する事業の実務者
- **Physical AIを活用した製造業の一次データ取得**と活用に関心のある方 (製造業を想定しているが、サプライや連携なども考慮している)

ネットゼロ：戦略立案から**実践**へ！

2015年のパリ協定で示された目標

≡ 2050年までに世界の平均気温の上昇を
1.5℃に抑える

≡ 2050年まで炭素排出量 (温室効果ガス) を
差し引きゼロにすること



新ESG (Energy, Security, Growth) の
動きとして**具体的な施策**に落とし込まれている

CSRD
SSBJ

企業サステナビリティ
報告指令

国内のプライム市場・大企業から順次拡大

EU域内市場の上場企業 (零細企業は除く)

第三国に親会社があるEU域内子会社

EU域内の売上高が大きいEU域外の企業



<https://emira-t.jp/pedia/18382/>

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=105089#>

テーマ7

ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

初級

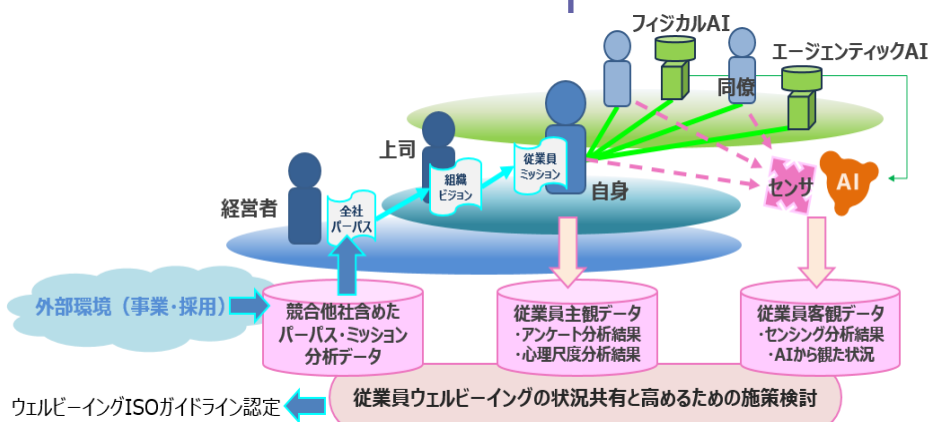
中級

上級

人の**ウェルビーイング**※関連データを**行動や振る舞い**からデジタル的に**取得**し、そのデータを活用して**フィードバック**することによりウェルビーイングの実現に近づける方法を、デジタル接点（センシング）や**データ解析**、**AI活用手法**を用いて考え、実証を行う研究会です。

- 小売業、製造業など従業員のウェルビーイング、および、経営・組織ビジョンに対する従業員エンゲージメント改善等に興味がある方や深堀をしてみたい方
- 人の気持ちや感覚などのセンシングや、人と協働するAIの研究をされている方
- ウェルビーイングの向上に関わられているコンサルやITベンダーの方

活動内容：



1. ウェルビーイングに関連する従業員とのデジタル接点（センサ・AI）および、そこで取得できるデータの調査。
2. 従業員のウェルビーイングにかかる施策に必要なデータセットを仮説、および、実証。
3. データやAIを活用した従業員のウェルビーイング改善の仮説、および、実証。

予定アウトプット：

デジタル接点(センシング・AI協働)調査報告

ウェルビーイング・レディデータの仮説

働くチームにおける、人とデータとAIの組み合わせ活用モデル

従業員をターゲットとしたウェルビーイング実証実験結果

※ウェルビーイング（well-being）：身体的・精神的・社会的にも、すべてが満たされた状態（well-being）にあること。概念的に、「幸福」と翻訳されることも多い言葉。

■ JDMC研究会とコミュニティ

研究会とコミュニティの特徴については[コチラ](#)

● 研究会一覧(7)

1. AI・データ活用のためのコンプライアンス	佐藤 市雄 (SBIホールディングス)
2. データマネジメントの価値	河島 一成 (シグマクシス)
3. MDMとデータガバナンス	水谷 哲 (NTTドコモビジネスX)
4. データドリブン経営	安田 航 (旭化成)
5. 生成AIによるデータ管理_FY26	野村 直之 (メタデータ)
6. 非財務データ (ESG)×Physical AIによる経営高度化— 一次データが企業価値をドライブする —	永野 友子 (富士通)
7. ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用	羽田 亨 (NECソリューションイノベータ)

研究会の詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=24588

● コミュニティ一覧(4)



1. エンジニアの会	峯岸 勇 (Yellowfin Japan)
2. DM実践勉強会	清水孝光 (清水技術士・診断士事務所)
3. データマネジメント座談会	加藤 俊 (ビジネスエンジニアリング)
4. マーケティングにおけるデータ活用	石田麻琴 (ECマーケティング人財育成)

コミュニティの詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=24561

JDMCコミュニティSlackチャンネル :

https://join.slack.com/t/jdmctalk/shared_invite/zt-nt57r7x2-Mk6itq4qEsAgglVCO1d2zw

FY26 研究会の皆様のご参加をお待ちしております



■ FY26 研究会の募集期限は、**再来週5/26(火)**です

研究会の発足は、5/26終日の時点で**5名以上のエントリー**が必要です

テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス研
究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

テーマ2

データマネジメントの
価値研究会

シグマクシス
河島 一成

テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTドコモビジネスX
水谷 哲

テーマ4

データドリブン経営
研究会

旭化成
安田 航

テーマ5

生成AIによる
データ管理研究会

メタデータ
野村直之

テーマ6

非財務データ (ESG) ×
Physical AIによる
経営高度化研究会
— 一次データが企業価値を
ドライブする —

富士通
永野友子

テーマ7

ウェルビーイング視点で
のヒトとAIのデータ相互
活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

研究会の詳細について



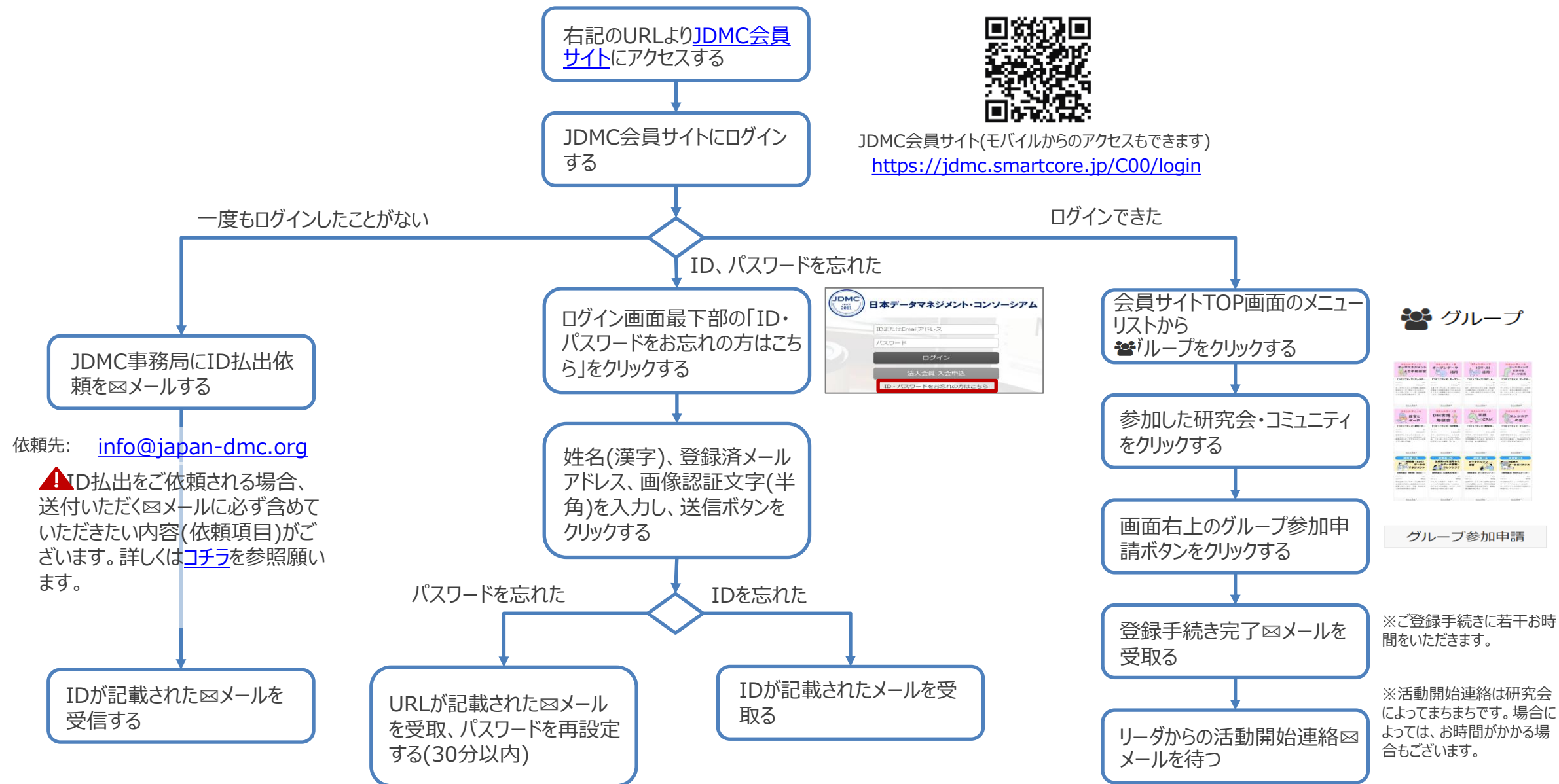
お申込み先方法については
[コチラ](#)

https://japan-dmc.org/?page_id=24588

■ JDMC研究会とコミュニティ

	研究会	コミュニティ
主催	JDMC (および、JDMC研究企画部会) ※研究会のリーダー、サブリーダーは自動的にJDMC研究企画部会メンバーとなります	JDMC会員による自主運営
目標設定	<ul style="list-style-type: none"> 研究会毎に目標設定 (会員から募集したテーマをもとに、JDMC研究企画部会が所管し、テーマ設定) 	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に目標設定
運営スタイル	<ul style="list-style-type: none"> サロン形式 ワークショップ形式 	<ul style="list-style-type: none"> 自由討議 研修やハンズオン 共同作業などの
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> 募集人数制限なし JDMC会員であること 	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に参加条件が設定 リーダーによる招待制のグループもあり
研究成果責任	あり	なし
活動費用補助	あり (上限あり)	なし

Appendix2. 研究会、コミュニティへの参加申し込み方法



■ JDMC会員サイトのID払出依頼メール記載内容



依頼メールには必ず、以下赤字の内容を含めてください。

依頼先：info@japan-dmc.org

「
JDMC事務局 会員サイトID発行ご担当者様お世話になっております。
x x x x 株式会社の〈お名前〉と申します。
この度、研究会・コミュニティへの参加のため、以下の内容でJDMC会員サイトIDの発行をお願いいたします。

〈お名前漢字名〉
〈ふりがな〉
〈ローマ字〉
〈メールアドレス〉

よろしく申し上げます。
x x x x 株式会社
〈漢字名〉
」



日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]